



UNITED BUSINESS ASSOCIATIONS

# くまもとUBA



九州ブロック青年部交流会

平成30年度

## 青年部の集い

in KUMAMOTO

熊本県中小企業団体中央会青年部協議会

会長 吉弘 顕規



皆様こんにちは。熊本の中央会青年部の会長を務めております吉弘です。

来る10月25日(木)、九州ブロックの青年部交流会「青年部の集い」をここ熊本で開催致します。現在、熊本らしさを感じていただけるような内容のアトラクション等を企画しているところです。

参加された皆さんに「熊本に来て良かった!」「熊本を堪能できた!」と言っていただけるような集いを目指して、私たち熊本の中央会青年部がおもてなし致します。

また、今回は青年部の集いが始まる前に、熊本城復興見学ツアーを予定しています。熊本は、約2年5カ月前の地震から、ようやく元気を取り戻しつつある状況です。今しか見ることのできない熊本城の姿を目で見て、肌で感じていただけると嬉しいです。

当日は、業種や地域を超えて、同じ悩み・課題を抱える若手経営者・後継者が九州各県から集まってきますので、杯を交わしながら、皆で語り合しましょう!一人でも多くの方のご参加を心よりお待ちしております。

平成30年10月25日(木)

### 熊本城復興見学ツアー

14:30~16:30

**会場** 熊本城  
(集合:桜の馬場 城彩苑)  
〒860-0008  
熊本市中央区二の丸1番1-1号

### 青年部の集い

18:00~

**会場** ホテル日航熊本  
〒860-8536  
熊本市中央区上通町2-1



熊本城~  
ホテル日航熊本の  
アクセス

- 熊本市電:「花畑町」電停より「健軍町」行き電車乗車後、2駅先の「通町筋」電停下車。「通町筋」電停から徒歩約2分。
- 徒歩約15分

お問合せ先

熊本県中小企業団体中央会青年部  
協議会事務局(吉村・田中)

〒862-0967 熊本市南区流通団地1丁目21番地

Tel 096-325-3255

Fax 096-325-6949

# 企業ハッシン!

このコーナーでは、くまもとUBAの会員青年部企業をご紹介します。今回は、熊本酒造組合士日（さむらい）会所属、河津酒造株式会社の河津宏昭社長にお話を伺いました。

## 河津酒造株式会社

昭和7年創業の河津酒造株式会社は、3代目の河津宏昭社長のもと、昔ながらの酒作りの手法を踏襲しつつ、新しいものを取り入れることでより良いお酒造りに取り組まれています。

頭に「日本」ということばの付く飲み物は「日本酒」と「日本茶」しかありません。そこから、河津社長は“酒づくり＝日本を代表する文化産業”と捉え、お酒を通して日本の文化を守り、承継していきたくて考えておられます。酒作りは日々の積み重ね、日々の連続の中で作られるものであるからこそ、様々な分野の技術を学んで酒作りに取り込み、次のステージにフィードバックして時代に合わせたおいしいお酒を作り続けていきたいという想いをもって取り組んでおられます。

お酒を作るにあたっては、原料にも大変こだわっており、地元の農家と一緒に米作りから取り組まれている酒蔵です。

淡麗辛口一辺倒であった日本酒も最近では多様化の傾向にあるという動きを受け、河津酒造では横方向の商品展開にも力を入れており、店先には超甘口や梅酒など多種多様なお酒が並んでいます。

取材に伺った9月初旬は「ひやおろし」の販売が開始されたばかりでした。ひやおろしとは、諸説ありますが、外気温とお酒の入った貯蔵庫の温度が同じくらいになる秋の季節に飲むことのできるお酒で、熟成が回り、成分が最も丸くなる飲みやすい時期のお酒のことをいうそうです。味わいの良さと、季節限定ということもあり、毎年人気の商品であるとのことでした。

他にも、数あるお酒の中からオススメをご紹介いただいたところ、「七歩蛇」、「花雪」、「小国蔵一本メ」などをご紹介いただきました。河津酒造株式会社には本コーナーでは紹介しきれない、たくさんのお酒が取り扱われています。ぜひお気に入りの1本を探しに河津酒造株式会社に行かれてみてはいかがでしょうか。

最後に、今後の展望について、「人生の最後の乾杯のときに口にしたいと言ってもらえるよう頑張りたい。日本一・世界一のお酒を作りたい!!」と語られた河津社長。酒作りに対する熱い想いを強く感じました。



### 「花雪」

日本酒度-20のやわらかい甘味と爽やかな香り。  
純米酒大賞2016 純米吟醸酒部門  
金賞受賞



河津酒造株式会社

〒869-2501 熊本県阿蘇郡小国町大字宮原1734-2

TEL 0967-46-2311 FAX 0967-46-2313